

手良スポーツ少年団 竜東竜西地区大会優勝!!

活性化だより

手良スポーツ少年団

『手良スポーツ少年団
竜東竜西地区大会優勝!!』

7月26、27日に第二十四回竜東竜西大会が開催され、手良スポーツ少年団、団員16名も元気に出場しました。

35℃を超える猛烈的な暑さでしたが、試合に出ている選手、ベンチからサポートする選手、チーム全員が優勝を目指して闘いました。

巴戦を一位で通過し、優勝をかけた2日目の会場は「手良総合グラウンド」。

決勝戦の相手は今季初対戦となる、西春近BBC。手良は7本の安打を放ち、6対3で勝利し優勝を決めました。



発行
手良地区活性化
促進会議

手良地区人口
世帯数 818戸
人口 1,991人
男性 986人
女性 1,005人
令和7年9月1日現在

瓜天王

『瓜天王のお祭り』

中坪地区で江戸時代から続く「瓜天王」は、祇園信仰に基づく独自の祭りです。毎年7月14日、疫病退散と家族の健康を願って、初物のキュウリを神に供える風習が伝えられています。

祭りの起源と信仰

「瓜天王」の名称は、祇園信仰の神である「天王さま(牛頭天王)」と、供える「瓜(キュウリ)」に由来します。江戸時代に疫病が流行した際、村人たちが八幡神社にキュウリを奉納したことが祭りの始まりとされ、最も自然な発祥時期は1800年代前半と推測されています。

「柴宮(しばみや)」に込める祈り祭りの中心となるのが、境内に設けられる「柴宮」です。これは、サワラの葉や枝で作られた祭礼期間限定の簡素な神座(かみくら)で、津島神社の神札を祀ることで疫病除けを願う特別な場です。夜になると灯りがとまり、地域の人々が採れたてのキュウリを供え、家族の健康や無病息災を祈ります。

地域に根付く伝統

「瓜天王」は、類例の信仰が他地域では「きゅうり天王」として知られる中、中坪地区にのみ独自の名称と祭礼形式で残りました。これは、中坪八幡社と祇園信仰の深いつながり、柴宮の伝統、そして地域の人々の強い結束力と伝承意識によって守られてきた文化であり、自然と調和した信仰の形を今に伝えています。



手良公民館

『ラジオ体操開幕式』

手良小学校では、7月24日から夏休みが始まりました。初日には恒例の「ラジオ体操開幕式」が、朝6時より小学校校庭で開催されました。

指導者の方から体操のポイントを教わり、朝のさわやかな空気の中、元気いっぱい体を動かして、夏休みの良いスタートを切ることができました。



田舎暮らしサポート委員会

『手良地区にお住まいの
皆さまへ、アンケート
ご協力をお願いします』

こんにちは! 田舎暮らしサポート委員会の
です。

この度、手良地区の未来に向けた大切なアンケートにご協力をお願いしたく、ご連絡いたしました。

手良地区に注目が集まっています! 手良地区は、伊那市が進める「田舎暮らしモデル地域」に、伊那西、新山、長谷溝口に続く4番目の地域として、2024年7月に指定されました。これを機に発足したのが私たち「田舎暮らしサポート委員会」です。委員は20名ほどで、地域の活性化に向けて活動しています。

○深刻な人口減少と、活動の背景
手良地区の人口は年々減少し、活性化促進会議が発足した昭和60年頃の約2,600人から、現在はついに2,000人を下回ってしまいました。このままでは、地域の活力が失われてしまいます。

そこで私たちは、移住やUターンを希望する方々を呼び込むため、昨年1年間、様々な活動に取り組んできました。
手良地区のホームページ(裏面のQRコード読み込み)を立ち上げ、手良地区の魅力を発信したり、空き家調査を行ってきました。
おかげさまで、最近では手良地区への問い合わせが少しずつ増え、注目されていることを実感しております。

○あなたの情報が
地域の未来を創ります!!
しかし、せっかく移住を検討してくださっても、提供できる住宅や土地の情報が不足しており、十分な提案ができていないのが現状です。
サポート委員会だけでは、地域のすべての空き家や空き土地を把握することはできません。そこで、皆さまのご協力が不可欠となります。

今回のアンケートでは、今お住まいの状況はもちろんのこと、「空き家や空き地を所有している」「どう活用したらよいか困っている」といった情報も広くお伺いしたいと考えております。

皆さまお一人おひとりのご協力、手良地区の新しい未来を築く力となります。市報と一緒に同封しました「田舎暮らしサポート委員会アンケート」にご協力をお願いします。

提出期限:
10月10日
提出先:
各常会長様

ご不明な点がございましたら、お気軽に
お問い合わせください。

エリス **くらしのメーカー**
エリス キタヤ 電器
エコ・ライフ・ショップ
伊那市上新田 2686-1

世代の繋がりを大切にし
安心して暮らせる地域を目指して

『手良地区見守りたい』

そんなある日、登校中の小学生が「今日は（見守りたいの）○○ささん居ないの？」と心配そうに声をかけられたと、見守り隊員が嬉しそうに話された場面がありました。



また、見守りたい内では「□□さん」は休みだから今日はこれでみんな行つたな」と登校人数も把握され、情報の共有が密であることが伺えます。

このような細かい事から世代を超えた交流が、自然に生まれていく証と言えます。



また、遠方からお孫さんの登校を見守られ、「足が痛くて孫に付き添えなくなってしまうが、安心して地域に任せられる」と話され、長期に渡るご尽力に地域を代表して感謝申しあげます。

小さな出来事にも目を向け、子どもたちの安全を守る姿勢が地域の安心・安全に繋がっています。

これからも「見守りたい」は世代の繋がり大切にしながら、安心して暮らせる手良地区を目指して活動を続けてまいります。

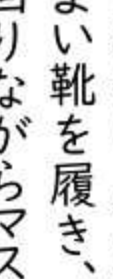


『マスカミ大会開催』

8月3日(日)、野口公民館下の棚沢川において、マスつかみ大会を実施しました。

当日は、10時から下手良・ハツ手、11時から中坪・野口に分かれて行われ、たくさん子どもたちが参加しました。

参加者は、ケガ防止のため濡れてもよい靴を履き、川の中を元気に駆け回りながらマスを追いかけてました。子どもたちは夢中になってマスを捕まえ、びしょ濡れになりながらも笑顔いっぱいひときを過ごしました。



『手良地区「二十歳のつどい」
開催のご報告』

去る8月14日、てらとぴあにて、平成16年（2004年）生まれの皆さんを祝う「二十歳のつどい」が開催されました。

当日は厳しい暑さの中、小学校を

卒業された26名のうちの1名が出席され、会場は懐かしい再会を喜ぶ声で賑わいました。かつて担任された先生方も駆けつけてくださり、久しぶりに顔を



見られました。
 交言なを姿長ちえせを
 面わ葉が細に、の子た合
 もすをらめ目た成た教わ



式典後は、参加者がフォトスポットで記念撮影をしたり、先生方と懇談を楽しむ様子が見られました。大人として堂々とお酒を酌み交わす姿には、頼もしさと地域の未来への希望を感じました。

これからそれぞれの道を歩み始める若者たちが、手良で過ごした日々を胸に、いつかまたこの故郷に戻ってきてくれることを、地域の皆さんとともに心から願っています。



『伊那市が誇る若き表現者』

1996年10月26日生まれ、伊那市手良野口出身の羽柴教生（はしばかずき）さんは、全国の音楽シーンで注目を集めるラッパーです。高校時代には「高校生ラップ選手権」で第6回・第7回大会と2年連続優勝を果たし、その名を全国に知らしめました。

ラップとは、リズムに合わせ、言葉を巧みに操る音楽表現。羽柴さんはその中でも、

- ・リズムに乗る感覚（フロウ）
- ・言葉の響きを合わせる技術（韻）
- ・曲としての完成度（音楽性）

このすべてに優れており、経験豊富なベテラン勢を次々と打ち破る実力者です。

代表的な戦績には、全国大会「U
MB(ULTIMATEMCBATT



LE) 2021年優勝、音楽イベント「SPOTLIGHT」2021・2023年優勝などがあり、テレビ番組『フリースタイルダンジョン』では史上3人目となる「ダンジョン制覇」を達成。賞金100万円を獲得するなど、華々しい活躍を見せています。

そして何より印象的なのは、普段の羽柴さんの姿。地元では穏やかで親しみやすく、少しゆるい雰囲気をもった青年ですが、ひとたびマイクを握れば、まるで別人のような鋭い眼差しと圧倒的な表現力でステージを支配します。そのギャップこそが、彼の人間的な魅力を際立たせています。

現在も全国各地で精力的に活動が続け、若手ラッパーの象徴的存在として、音楽を通じて多くの人に勇氣と刺激を届けています。

地元・手良から羽ばたいた羽柴さんの今後の活躍に期待です。

羽柴教生(はしば かずき)さん
MC☆ニガリo.k.o 赤い稲妻